

# 「個と組織の適合」を目指す 開発的キャリアカウンセリング



企業では、悩み解決だけでなく、キャリア自律を促進するカウンセリングも求められています。

しかし、後者のプロセスや手法はあまり明確にされてきませんでした。

本講座では、キャリア自律を促進するとともに個と組織が適合する状態を指向するカウンセリングのフレームワークと技法を紹介します。

日時	9月23日(月・祝) 10時~17時
開催方式	オンライン(Zoom利用)
講師	高橋 浩 (ユースキャリア研究所 代表)
定員	20名程度。4~5名のグループワークあります。 キャリアコンサルタントの取得後、通算3年以上の実務経験がある人が望ましい
参加費	一般13,000円(税込)、JCC会員 11,000円(税込)
申込方法	Peatixサイト( <a href="https://jcc24nk2.peatix.com">https://jcc24nk2.peatix.com</a> ) または、JCCのホームページ( <a href="https://npo-jcc.org/">https://npo-jcc.org/</a> )からお申込みください。

## 【講座の概要】

現在、多くの企業では社員のキャリア自律が求められています。しかしながら、キャリアコンサルタント養成講座では問題解決のための面談技術が訓練され、キャリア開発を主眼とした訓練は行われていません。また、セルフ・キャリアドックやlonlといった場面でも、社員は悩みを抱えて来談するとは限りません。この場合、キャリア形成の状況をアセスメントによって今後すべきキャリア発達の課題を明確にし、課題達成を促進する面談が求められます。

今回紹介する「開発的キャリアカウンセリング」は、企業内でキャリア発達した姿を「個と組織の適合状態」と設定して、そこに向けて段階的に支援するプロセスを定義しました。このプロセスにそって、クライアントをアセスメントし、必要な支援を行っていくフレームワークを紹介します。また、その中で求められる支援方法のうち特に重要な技術についてワークを交えて学んでいきます。

## 【講座内容】

- ・ 開発的キャリアカウンセリングの背景と概要
  - ・ 開発的キャリアカウンセリングのプロセスと支援
  - ・ 「ととのえる」キャリア形成意志の確立とキャリア形成資本の活用
  - ・ 「ふかめる」自己概念 (Will, Can, Must) の言語化
  - ・ 「かなえる」個と組織の適合状態の実現
- ※ 開発的キャリアカウンセリングは、講師の高橋浩と日本能率協会マネジメントセンターとの共同開発中のため、当日の内容に多少変更が生じる場合がございます。

## 【講師紹介】

高橋浩 (たかはし・ひろし) ユースキャリア研究所 代表  
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 理事  
日本キャリア・カウンセリング学会 元研究委員長  
法政大学大学院／目白大学大学院／立正大学 講師  
博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師

1987年、NECグループの半導体設計会社に入社。設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事し、2011年に退職。2012年3月博士号取得、5月ユースキャリア研究所を設立。現在は、大学講師、行政や大手企業でのキャリアカウンセラー、キャリア開発研修講師などを務める。また、キャリア支援に関する調査研究も行っている。

主な著書は、『セルフ・キャリアドック入門』(共著・金子書房)、『実践コミュニティアプローチ』(編著・金子書房)、『実践家のためのナラティブ／社会構成主義キャリア・カウンセリング』(共著・福村出版)など。

お問合せ先: JCC事務局: [info@npo-jcc.org](mailto:info@npo-jcc.org) 電話: 03-6806-0693

ホームページ: <https://npo-jcc.org/>

講座責任者: 小澤 : [yozawa@key.ocn.ne.jp](mailto:yozawa@key.ocn.ne.jp)